

# 学園だより

和歌山工業高等専門学校

第113号

令和6年9月



入学式



開設60周年記念事業・総合体育館完成式



上海電機学院 送別会



サイバー防犯ボランティア委嘱式

## 目次

和歌山高専開設 60 周年を迎えて —開設 60 周年記念式・新総合体育館完成式及び記念講演会の開催— … 校	長井上示恩	3
専門科目と一般科目 ……………	教務主事 秋山 聡	4
モラルある行動を ……………	学生主事 奥野 祥治	5
柑紀寮の歩み ……………	寮務主事 三岩 敬孝	6
<b>学生会長のあいさつ</b>		
経験することの意味 ……………	知能機械工学科 3 年 西川 漠土	7
<b>新入生—本科</b>		
和歌山高専に入学して ……………	知能機械工学科 1 年 垣内 瑛貴	8
和歌山高専に入学して ……………	電気情報工学科 1 年 中川 空来	8
和歌山高専に入学して ……………	生物応用化学科 1 年 坂口 太一	9
和歌山高専に入学して ……………	環境都市工学科 1 年 甲田 義桃	9
<b>新入生—専攻科</b>		
専攻科に入学して ……………	メカトロニクス工学専攻 1 年 池田 李玖	10
専攻科に入学して ……………	エコシステム工学専攻 1 年 溝畑 圭汰	11
<b>新外国人留学生</b>		
自己紹介 ……………	知能機械工学科 3 年 セジッド	12
自己紹介 ……………	生物応用化学科 3 年 アイヌル	13
<b>柑紀寮より</b> ……………		14
<b>お知らせ</b>		
令和 6 年度 学科主任 ……………		15
令和 6 年度 クラス担任 ……………		15
令和 6 年度 学生相談室（ハラスメント相談員）……………		16
<b>令和 6 年度行事計画</b> ……………		17

## 和歌山高専開設 60 周年を迎えて

### —開設 60 周年記念式・新総合体育館完成式及び記念講演会の開催—



校長  
井上 示 恩

本校は、東京オリンピックが開催され東海道新幹線が開通するなど日本の高度経済成長期の始めに当たる昭和39年に、和歌山県御坊市名田町に設置され、本年（令和6年度）で開設60周年となる記念すべき年を迎えることができました。これはまさに、国や地域の教育機関・行政機関、産業界、後援会、地元の方々、同窓会、歴任教職員などの皆様からの絶え間ないご支援・ご協力のおかげです。深く感謝申し上げます。

本校の立地上の特色としてアクセスはやや不便ですが、丘陵地帯の麓にあり太平洋に面するなど自然豊かで、防災上の安全性が確保された標高10数メートルの堅固な岩盤の高台を校地としており、学生たちが安心して勉学に、研究に、スポーツに専念することのできる最適な環境にあります。設立当時の皆様の見識に敬意を表します。

本年7月17日には、開設60周年記念式・新総合体育館完成式及び記念講演会を挙行了いたしました。開設60周年記念式・新総合体育館完成式には、ご来賓として二階衆議院議員（矢本秘書）、石田衆議院議員（上秘書）、浮島衆議院議員（柏木秘書）、鶴保参議院議員（今村秘書）、世耕参議院議員（緒方秘書）をはじめ、笠原文部科学省文教施設企画・防災部長、梅原専門教育課長（有蘭課長補佐）、岸本和歌山県知事（北村企画政策局長）、宮崎和歌山県教育長（深野学校教育局長）、小路日高振興局長（藁科地域づくり部長）、三浦御坊市長（仮家総務部長）、日裏印南町長、本山和歌山大学長（松本理事・副学長）、戸川和歌山県中学校長会会長、伊藤御坊市立名田小学校長、上西御坊商工会議所会頭（塩路専務理事）、中江和歌山高専産官学技術交流会会長（塩路専務理事）、新宅

後援会長、谷川同窓会長などのご来訪を賜りました。本校の設置者である国立高等専門学校機構からは谷口理事長、梶山理事、清水事務局長のご出席をいただきました。二階議員（矢本秘書代読）及び笠原部長からはご祝辞を頂戴し、谷口理事長から謝辞がなされました。多くの方のご来訪やご祝意をいただき、大変に有り難いことと存じます。

この素晴らしい年を迎える時に、念願の体育館も国等の皆様のご支援により全面的に新築されました。空調完備で体育室、柔道場、剣道場、トレーニングルーム、多目的トイレ等を有し、停電時でも水道や電気施設が使用可能で床はクッション材を活用するなど安全性に優れた総合体育館です。今後は、学生たちのための授業や課外活動に積極的に活用し、災害時の避難所としても機能することが期待されます。

記念講演会では、本校卒業生の物性物理の第一人者である九州大学大学院理学研究院の木村教授、及び自動車工学・生活支援工学等を専門とされる東京工業大学工学院機械系の小竹（しの）教授に講演いただきました。お二人の心のこもった実践的な講演を学生たちは真剣に聴いていました。

さて、本校は開設以来5年一貫の早期からの専門教育を行う大学等と同じ高等教育機関として約8,300名という多くの優れた卒業生を社会に送り出してきました。皆、優秀な技術者、研究者、教育者、企業家等として様々な方面で活躍し高い評価を得ています。人口減少、社会経済や国際情勢の変化、国際化、科学技術の著しい進展などにより現在の日本は急激に変貌しつつありますが、この誇らしい実績を維持し、これからも地域を発展させ、日本の産業界をリードする「人財」を輩出し続けることが最大の使命であると考えています。

このため、新たな価値を生み出し産業界の指導者として必須の起業家精神（アントレプレナーシップ）を有し、世界に通用する技術者を育成する取組みを企業や本校卒業生、高専関係者等とともに力強く実施していきます。

今後とも引き続きのご支援、ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

## 専門科目と一般科目



教務主事  
秋山 聡

皆さんの専門と総合教育科が担当する一般科目について考えてみました。高専の一般科目は自然・人文・社会(数学、物理、化学、外国語、国語、社会、保健体育)の多岐にわたります。これらを社会に出てからいつか役立つかもしれない教養であり、早期専門教育を受けるために高専に来た自分が勉強する事ではないと考えている学生さんは多いかもしれません。言葉としての「一般」には「ありふれている」という意味があり、これも誤解を後押ししているかもしれません。

国立高専は本科5年間で皆さんを技術者として育成するための必須の教育内容をモデルコアカリキュラム(MCC)としてまとめており、本校の教育もこれに準拠しています。MCCは各分野の企業団体や学会に技術者として必要とされる資質・能力についての聞き取りを行い、精査の結果として得られたもので、高専が独断で決めたものではありません。

MCCでは、専門科目は「技術者が備えるべき分野別の専門能力」を育成し、一般科目は「技術者が分野共通で備えるべき基礎的能力」を育成すると位置付けられています。ゆえに、一般科目の「一般」は「共通」を意味します。

高専では教育担当が低学年から高学年に向かって総合教育科から専門学科へグラデーションを持って入れ替わります。そこには高校と大学を隔てる大学入試のような小人数を選抜する堰はありません。学生全員が各自の選択に沿った技術者になるための枝分かれしていく幾多の過程が存在し、皆さんはそれを最後まで走り切る必要があります。

総合教育科が担当する低学年教育はこの枝分かれ前後の幹や主枝に相当し、選択のための感性と走り切るための体力を養います。技術者としての当たり前を当たり前と感じてもらうため、各科目で色々な事例と標準的な扱い方に触れる時期です。専門学科が担当する高学年教育は若枝や新芽に相当し、各分野で高度に専門化した内容を扱います。皆さんが選択した分野の専門家である先生と学問上の思考距離がもっとも近くなる時期です。

皆さんはこれらの渦中にあり、様々な理由で迷ったときは、改めて高専の仕組みと自身の選択を鳥瞰し、考えを整理すると良いかもしれません。



## モラルある行動を



学生主事  
奥野祥治

学生の皆さんこんにちは、学生主事の奥野です。新年度がはじまり4カ月近くが過ぎ、新入生の皆さんも新しい学校生活に慣れてきたころだと思います。本校は、服装や髪型についての校則もなく、自由な校風が特徴の一つといえますが、学生としてモラルある行動が重要になってきます。今回はこのモラルある行動について、少し話をしたいと思います。

私たちは、日々さまざまな選択を迫られる中で生活しています。その中で、私たちが選ぶ行動は、単に自分自身だけでなく、周りの人々や社会全体に影響を与えることを忘れてはなりません。特に学生の皆さんにとって、モラルある行動は将来にわたって重要な基盤となります。モラルとは、倫理的な規範や原則に基づいて行動することです。これは単なる行動規範を守るだけでなく、他者に対する責任や尊重を含みます。モラルのある行動をとることは、社会的な信頼を築き、健全な人間関係を構築するための基本的な要素です。

学校生活や社会で成功するためには、知識や技術だけでなく、他者との協力や信頼を築く能力も不可欠です。モラルある行動は、そのような能力を育む上で極めて重要です。例えば、チームでの仕事やプロジェクトにおいては、相手を尊重し、公正で誠実な態度で臨むことが成功の鍵となります。

まず、モラルある行動をとるには、正直さと誠実さが重要です。正直であることは、自分自身や他人に対する最も基本的な責任です。嘘やごまかしをせず、事実に基づいて行動することが求められます。特に困難な状況や誘惑に直面した際にこそ、自分の信念を貫くことが大切です。誠実な態度は、他者との信頼関係を築く基盤となります。また、モラルある行動には、他者への思いやりと配慮が欠かせません。自分の利益だけでなく、周りの人々の感情や権利を尊重することが求められます。他人に対して親切で寛容な態度を持ち、協力して共に成長することが重

要です。また、相手の立場や状況を理解し、共感することで、より深い人間関係を築くことができます。さらに、モラルある行動には、自己責任を持つことが不可欠です。約束や義務を果たし、他者や集団に対して信頼できる存在であることを示すことが重要です。遅刻や不履行が生じた場合でも、誠実な態度で対応し、問題解決に取り組む姿勢が求められます。責任感を持って行動することで、自己の成長や信頼性を高めることができます。ただし、自己責任だといって、自分の好きなように行動していいというわけではありません。自分が果たすべき責任だけでなく、社会のルールや通念をしっかりと理解し、その場にあった責任ある行動をすることが大切です。例えば、高体連の大会に出場する際やインターンシップなどに参加する際に、自己責任だからと言って、好きな服装や髪色にすることは、社会的な通念を無視した行動であり、責任ある行動とは言えません。そして、そのような行動は社会的信頼も失ってしまいます。

加えて、モラルある行動には、公平で正義な判断を行うことも含みます。偏見や差別を排除し、すべての人々が平等に扱われる社会の実現に向けて貢献することが重要です。個人の権利や尊厳を尊重し、公共の利益を考慮した行動を心がけることで、より良い社会の一員としての責任を果たすことができます。

最後に、モラルある行動は自分だけでなく、周りの人や社会にも気持ちのいい印象を与え、物事をスムーズに進めることが出来るようになります。自分の行動が社会に与える影響を意識し、良識と良心に従って行動することが求められます。将来、さまざまな職場や社会活動でリーダーシップを発揮する際にも、モラルの基準を守り、周囲の人々と共により良い未来を築くための一翼を担うことができるでしょう。

学生の皆さんには、モラルある行動を実践することで、自己の成長と共に、社会全体の発展に寄与することが期待されています。困難な選択や誘惑に直面した際にも、自分の信念を貫き、正しい道を選ぶ気持ちを持ち続けてください。そして、常に誠実さと公平さを心に留め、他者との連携を大切にすることで、より良い未来を築いていくことができるでしょう。

皆さんの今後の学びと成長を心から応援しています。

## 柑紀寮の歩み



寮務主事  
**三岩 敬孝**

本校は紀伊半島の中部、和歌山県御坊市にあり、自然環境豊かで沈む夕日の眺めはどこの高専にも負けません。一方で少子高齢化にともなう人口減少により、公共交通機関の便が非常に悪く、本校で学ぶ学生達にとって学生寮は必要不可欠な施設となっています。そのため開校当初から複数の号館が立ち並ぶ寮が建設され、現在では1号館から8号館まで、本科生、専攻科生を合わせると在校生の約6割が寮で生活をしています。

開校当初は男子学生のみであり、4人部屋での共同生活。先輩の言うことは絶対的な昭和の管理運営がされていたことでしょう。そのような時代であったとしても、これまで本校を卒業していった多くの卒業生にとっては、本校の寮で生活を共にしてきた同級生との思い出は数知れずと思われま

す。これまでの学生寮を振り返ると以下ようになります(号館名は現在の標記)。

昭和40年 4月	1号館、食堂、浴室の新設
昭和41年 3月	4号館の新設
昭和41年12月	5号館の新設
昭和43年 3月	管理棟(7号館)の新設 2号館の新設
昭和45年 3月	3号館の新設
昭和63年 3月	6号館の新設
平成19年 1月	1号館を改修、女子寮とする
平成26年 8月	8号館の新設
令和元年 3月	2号館を改修、女子寮とする
令和 3年 6月	7号館の建替え
令和 4年 7月	5号館(食堂、浴室)の建替え
令和 5年 7月	4号館の建替え
令和 6年 6月	3号館の建替え

このように開校当初から多くの学生達の思い出の場として生活を支えてきた学生寮ですが、近年では女子学生が増加してきたこと、名田地区に吹付ける強い潮風と雨や台風などによる老朽化も進み、おおむね古い号館から順に改修もしくは建て替えの工事が進められてきました。女子寮には各号館に浴室が設置され、部屋の広さは号館によって異なるものの男子寮は全て個室となりました。全ての寮室にエアコンが設置され、インターネットも利用できるようになりました。令和になって新しく建設された号館の照明は明るくて省電力なLEDを採用し、シェアハウス型の構造としたことで、学生達は共有スペースで議論したり、共に勉強できるようになりました。

昭和から平成、そして令和の時代になり、本校も60周年を迎えることになりました。柑紀寮も開校当時の号館は全て改修もしくは建て替えられ、新たな時代へとスタートしましたが、柑紀寮での共同生活で身に付けることができる社会人としての基礎力に変わりはありません。今後、新たな柑紀寮で多くの事を学び、同級生との思い出を作っていくてください。



# 学生会長あいさつ



## 経験することの意味

知能機械工学科 3年  
西川 漠 土

皆さんこんにちは、学生会長の西川漠土です。前期も残り少なくなり、期末テストが終わればもうまもなく夏休みです。テストが迫っていて憂鬱だと思う学生もいれば、その先に待つ夏休みに今から浮き足立っている学生もいることでしょう。

そんな皆さんに向けて、是非、夏休みにたくさんの経験をさせていただきたいと思います。入学式に歓迎の辞として新入生の皆さんには経験することの大切さをお話しさせていただきましたが、具体的な経験すべき事についてはお話ししていませんでしたので、この機会に併せてお話できればと思います。

まず、なぜ経験すべきであるとしたのかについては、理由の大部分として自身の視野や選択肢が広がるからというものがあります。何を経験するにして

も、やはりその過程で新しい発見はあるはずですが。その発見というのは大小かまわずふとしたところで皆さんの人生に影響してきます。ですから、失敗も成功も是非、経験してください、ということをお話ししました。

さて、肝心の経験すべき事についてですが、結論から言うと「やりたいことだけやっておけば良い」です。もちろん、やりたくないことをやらなくて良いと言うことではなく勉強などの自分のすべき事をした上で、何か経験するにはやりたいことをする方が良いと言うことです。そして、様々な経験をするうちに意味の無いと思っていたことややりたくないことにも意味が見いだせる 때가来ます。よく、社会に出て数学なんて使わないという人がいます。確かに数学そのものとして扱う人は限りなく少ないと思いますが、数学を学ぶ事によって数学を「別の、意味あるもの」として使うことは多々あります。

このように、あるものに意味を見いだすという点でも経験というのは生きてきます。ですから、皆さんもこの夏休み、もしくは夏休み中と言わず高専在学中に様々な経験を積んで、自身で考えて、物事に自分なりの意味を見いだせるようになっていただきたいです。



## 新入生 — 本科



### 和歌山高専に入学して

知能機械工学科 1年  
垣内 瑛貴

僕が和歌山高専を受験しようと考えたのは中学3年の秋くらいでした。その前まで高専とはどのような学校か少し知っていましたが、当時はあまり魅力を感じませんでした。ですが普通校に行く理由を考えてみると全く思いつきませんでした。そこで、将来就職を有利にするためにどうすればいいのか考えた結果、5年間で幅広い知識を身につけ社会で即戦力となれる高専に行こうと考えました。

ここからは寮と勉強面について紹介します。寮では入寮して3ヶ月ほど経ちましたが、とても楽しく毎日が修学旅行のようです。最初はもちろん不安が大きかったのですが、それを忘れるほど楽しいです。友達と時間があるときに外に出て歩いてコンビニに行ったり、部屋へ遊びに行ったりして最高の日々を過ごすことができています。またコアタイムという夜8時から9時まで自習をする時間があるので、勉強することも忘れずバランスを取れているのがなおい点だと思います。

次は勉強面です。高専の授業は普通の高校と違い、数学などは1年生の時から高校2年生の内容に取り組んでいたりと進み具合がとても速く、また授業時間が90分と長くて大学のようなのですが、間に休憩を取ってくれる先生もいるので少し楽です。また1年生から専門的な工具や機械を扱います。僕はまだ正直専門的な機械などに慣れていないので、これからもっと勉強して沢山の知識を身につけて、まず機械に慣れることから始めたいと考えています。さらに小テストや課題も教科によっては正直多いので、日頃から勉強しておく習慣づくりが大切だと感じました。



### 和歌山高専に入学して

電気情報工学科 1年  
中川 空来

入学してからとても楽しい三か月が過ぎました。

僕は小学校の頃から、高専に入学することが目標でした。その理由のひとつには、髪の毛や服装など普通の高校よりも自由な点が多いからです。入学後は、寮のWi-Fiが重かったり、コンビニまでの距離が遠く感じることもありますが、毎日の寮生活は楽しいです。朝ごはんから晩ごはん、寝るところまで友達と一緒に生活でき、修学旅行気分が最高です。また、一週間や二週間、三週間ぶりに地元に戻り中学校の友達と会った時の特別感はずいぶんすごいです。

僕はハンドボール部に所属しているのですが、部活動の先輩はアットホームな感じで楽しく活動することができています。時に、アットホームすぎる部分もありますが、それも高専の醍醐味だと僕は思います。部活動の先輩以外にも四、五年生や専攻科生も非常に喋りやすく、とても優しく接してくれます。

勉学では、赤点が60点と高専クオリティーですが、教

授の先生方が多く、分かりやすく教えてくださるので、赤点をとる心配がなくテストを受けることができます。また、寮でお互いに勉強を教えあうこともできるので安心感もあります。

行事は体育祭のみ経験しましたが、先輩方の服装や見た目、応援から気合の入りの違いを感じ、応援から全て盛り上がりとても楽しかったです。

入学してから三か月、先輩や先生、友達から高専というものを感じました。これからも和歌山高専生であることを誇りにもって日々の生活を充実させていきたいと思っています！



## 新入生 — 本科



### 和歌山高専に入学して

生物応用化学科 1年  
坂口 太一

僕は高専に来てからたくさんの発見をした。そのうちのいくつかを紹介しようと思う。

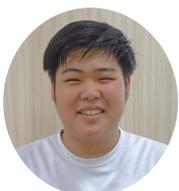
一つ目は人だ。入学前の僕は高専にいる人たちは賢く真面目で厳しい人ばかりなんだろうな、と思っていた。しかし、そんな僕の考えを高専にいる人たちはいい意味で裏切ってくれたのだ。クラスメイトには面白い人やユーモアのある人が多くいる。教授も優しい方ばかりで、僕は自分のイメージとの違いに非常に驚いた。

二つ目は一人で生活することの難しさだ。高専に入学する前の考えでは、寮生活が始まって一人で生活することになっても大丈夫だろう、そう考えていた。しかし、寮生活が始まると、家事が大変だったり、掃除が大変だったりして、一人で生活することの難しさ、家族に支えてもらっていた有難さを知った。今は友達と仲良くなり、協力できているので、生活が少し楽になった。

三つ目は私服登校だ。入学前の僕は制服がある方が

服を選ぶ必要がなくてとても便利だ、と思っていた。しかし、私服登校もとても便利だということに気づかされた。私服登校の最大のメリットは、パジャマで登校できるということだ。僕は朝起きるのが苦手なので、時間がないときはパジャマで登校している。

このように、僕は高専に入学してからたくさんの発見をしてきた。そしてこれからもたくさんの発見を探していきたいな、と思う。



### 和歌山高専に入学して

環境都市工学科 1年  
甲田 義桃

私が高専に入学する前、地元大阪の友達になぜ大阪公大高専にしなかったのだと問われました。確かに大阪公大高専だと寮に入ることがなく、地元に残り続けることができました。しかし、私は和高専の環境都市工学科の都市計画に惹かれ、この学校で頑張って、将来の夢を叶えようと心に決めたので入学しました。

学習面、寮生活について

まず学習面について、私はとてもハイレベルな学校に来てしまったのではないかと少し後悔してしまいました。入試で同じ順位だった人が中間テストで上位をとっているにもかかわらず、私は彼とはかけ離れた順位をとってしまい、驚きとともに非常に危機感を持ちました。そこで私は自分の順位を戒めにし、これから卒業するまで彼に追いつき、追い越せるような学生になると誓いました。

次に寮生活について、入寮する前はとても不安で自分は一人でやっていけるのか、友達とはすぐに打ち解けることができるのかずっと考えていました。ですが、この不安も入寮してすぐに吹き飛びました。みんなの出身を聞いて驚いたり、一緒にコンビニに行ったりと毎日修学旅行に行っている感じがして、とてもいい仲間に出会えることができるともうれしかったです。

最後に、これからたくさんの壁にぶつかると思います。しかし、その壁を乗り越えるために全力で立ち向かっていこうと思います。



## 新入生 — 専攻科



### 専攻科に入学して

メカトロニクス工学専攻1年  
池田 李 玖

僕たちが専攻科に入学して約4か月が経ちました。あっという間です。僕が専攻科に入学することを決めたのは4年生の終わり頃でした。進路を決める際に進学することを決めた理由は、自分の学力でどこまでいけるのか気になったからです。特に、本科生活で学んできたことをさらに深め、自分の限界に挑戦したいという気持ちが強かったです。また、就職すれば勉強することはありますが、学生の時よりは勉強する時間が少ないと思い、専攻科に入学しました。学生のうちにしかできない学問の探求を思う存分行いたいと考えています。

僕が専攻科に入学してから一番大変だと思ったことは課題の多さです。授業が多いのはもちろんのこと、ほとんどの科目が学修単位であり、ほぼ毎日課題をしてはまた次の課題が出る日々です。できるだけ課題は出されたその日に行いますが、時々夜遅くまで取り組むこともあり、寝不足になってしまうこともあります(笑)。そして授業では、本科で学んだ電気・情報の科目以外にもほかの専門科目も学ぶ必要があり、毎日理解するのに大変です。例えば環境工学などこれまで触れることのなかった分野にも取り組む必要があり、最初は戸惑いました。しかし、新しい知識を得られることは悪い気がしません。むしろ、新しい知識を吸収し、自己成長を実感することが出来るので、充実感を得られています。専攻科に入学することで、電気分野以外の専門分野の知識も吸収し、自分の将来の選択肢が増えるので、専攻科に入学してよかったです。

もう一つ専攻科に入ってよかったことは、交友関係の幅が広がったことです。本科では他学科の学生たちと交流する機会が少なかったと感じました。専攻科のメカトロニクスでは、電気学科と機械学科で同じクラスになるので、本科の時と比べ他学科の学生たちと友達になる機会が多いと感じました。また、専攻科の授業に「創造デザイン」という科目があり、メカトロニク

ス・エコシステム専攻からそれぞれ2人ずつ、計4人の班で、地域に役立つ実験を自分たちで考えるものです。その科目では、他学科の専門的な意見の出し合いや、助け合いがあるので更に交友関係の幅が広がったと感じました。

そして、専攻科では本科で行った卒業研究を引き継いで行う、「特別研究」があります。卒業研究では約1年半の研究期間ですが、特別研究では卒業研究のテーマを引き継ぎ、さらに2年間研究を行います。僕は卒業研究で自分の満足いく結果を得ることが出来ず、少し悔しい思いや、大変な思いをしました。本科での卒業研究で行えなかったことを特別研究で行い、満足のいく結果を得られるように頑張っていきたいと思います。

2年間の専攻科生活をできるだけ無駄な時間を減らし、計画を立て、自分の選択に後悔のないように過ごしたいと思います。また、専攻科での経験を通じて、将来のキャリアに役立つスキルや知識を身に付けることを目指しています。



## 新入生 — 専攻科

### 専攻科に入学して

#### エコシステム工学専攻1年 溝畑圭汰

専攻科に入学し、3か月が経過しました。入学当初は、5年間共に励んだクラスメイトがいなくなるため、学生生活に不安を感じていましたが、今では新たな級友と楽しい専攻科生活を送ることができています。そこで、専攻科についてこの3か月間で感じたことを3つ紹介したいと思います。

1つ目は「環境」です。専攻科ではメカトロニクス工学専攻とエコシステム工学専攻の2つの専攻があり、メカトロニクス工学専攻は知能機械工学科と電気情報工学科により形成され、エコシステム工学専攻は生物応用化学科と環境都市工学科により形成されています。そのため、本科5年間では関わる機会の少なかった他学科の人と同じクラスになります。入学当初は他学科の人と交友関係を築けるか心配でしたが、いざ入学するとすぐに新たな交友関係を築くことができました。また、専攻科は本科のときと同じ環境で勉強するので、環境の変化への対応は必要とせず、勉強に取り組みやすかったです。

2つ目は「勉強」です。専攻科では本科で学んできた土木や環境系の分野に加え、生物系などの他学科の分野についても学びます。他学科の分野は今まで学んでこなかった分野であるため、理解できるか不安でした。しかしながら、先生が分かりやすい例えや他学科の学生にも伝わるようなイメージを用いた授業を行うため、知識がない環境都市工学科出身でも楽しく理解することができました。また、「創造デザイン」では各学科から集まった4人1組のグループを作り、グループで研究や開発を行います。創造デザインを通じて、他学科との交友関係を広げることができるのはもちろんのこと、4学科の技術や知識を用いて研究を行うため、自分の知識を広げることができ、とても良い機会だと感じました。

3つ目は「研究」です。本科5年のときに卒業研究として研究をはじめ、専攻科では特別研究を行っています。専攻科に進学し、本科の時と同じ研究室に所

属することで本科の研究テーマを継続して研究を続けることができます。そのため、卒業研究で残った課題を解決することやより深く研究を行うことが可能になり、研究に打ち込みやすい環境が整っていると感じました。

専攻科の2年間はとても短いと思いますが、さまざまな知識や技術を身に付け、自分を高めることができる良い環境にあるのではないかと考えています。もし本科の学生で進学を考えているのであれば、専攻科も1つの選択肢としてよいのではないかと思います。



## 新外国人留学生



### 自己紹介

知能機械工学科  
3年  
セジッド

初めまして、皆さん。セジッドと申しますが、みんなセジーと呼んでいます。和歌山高専の初めてのチュニジア人だと思います。チュニジアはとても小さい国でアフリカ大陸の一番北にあります。母語は一応アラビア語ですが、チュニジア人が使っているのはアラビア語とフランス語を混ぜた方言のような言語です。生まれてからアラビア語とフランス語を同時に学び、それから小学校から英語も学ばないとイケないのです。その上、高校の最後の2年に別言語も習います。私の場合はドイツ語を受けましたが、さすがにそんな複数の言語を覚えるのは厳しかったです。ちなみに日本語も高校の時から学び始めました。きっかけは多くの留学生と同じくアニメでした。最初はアニメの面白いセリフを覚えたり、日本の曲を聞いたりして、受動的に日本語を身に付けました。それから少しずつ日本に興味を持つようになりました。高校を卒業したら、留学をしようと思って、日本の奨学金に申し込んで、2023年の4月に日本に移って、1年間東京の日本語学校で過ごしました。



趣味はいろいろあります。芸術が好きなのでいろいろ試しました。子供の頃から、絵をかいたり、ギターを弾いたりして、日本に来てからはカラオケも毎週やっています。その他にもビデオゲームが好きです。

地元はチュニジアの首都、チュニスです。チュニジアの歴史は深いので、文化が豊富で、世界遺産も多いです。そして海がすごくきれいです。

物価が少し安いので、みんなもぜひチュニジアを訪ねてください！



## 新外国人留学生



### 自己紹介

生物応用化学科  
3年  
アイヌル

私はアイヌル。マレーシア出身である。マレーシアのボルネオ島という島にあるクチン市で生まれた。自分のことを説明するとしたら、よくおしゃべりをするのが好きで、それが私の友好的で外向的な性格にもつながっている。現在、和歌山の国立高等専門学校に留学している。留学は自分の視野を広げ、人間的な成長を促すユニークで充実した経験になると信じている。また、留学は異文化に浸り、新たな視点を得て、現代社会に不可欠な貴重なスキルを身につける機会を与えてくれると信じている。

この機会に、私の故郷であり、魅惑的な土地であるサラワク州について、この文章でお話したいと思う。サラワクは伝統と民族のつぼである。サラワクには様々な先住民族が住んでおり、それぞれが独自の言語、習慣、信仰を持っている。中でもイバン族、ピダユ族、オラン・ウル族、メラナウ族のコミュニティは、ガワイ・ダヤックやペスタ・カウルといった伝統的な音楽、ダンス、儀式を中心とした活気あふれる祭りを通して、自分たちの遺産を称えている。これらの文化祭はサラワクの多様性を示すだけでなく、人々の一体感と誇りを育んでいる。

その他、サラワクを語る上で欠かせないのが、食べ物だ。私の意見として、サラワク料理はマレーシア料理の中で最高の料理である。サラワク料理で一番好きなのはラクサ・サラワク。サラワクに帰ったら必ず食べる料理で、私の安らぎの食べ物のひとつだ。私にとって、ラクサ・サラワクは親しみと安心感を与えてくれる。その濃厚でクリーミーなスープとボリュームたっぷりのトッピングは、単に栄養を補給するだけでなく、人生の大切な瞬間に立ち戻らせてくれるような、安らぎのある味を提供してくれる。



最後、日本に留学することを決めたからには、多くの困難や課題に直面することになると思う。しかし、この機会に自分を磨き、誇りを持てる人間になりたいと思う。このKOSENでたくさんの友達を作って、日本語を上達させたい。KOSENに来れば、たくさんの経験やスキルが身につくと思うので、きっと後悔はしないと思う。よろしくお祈りします！



# 柑紀寮より

寮務主事補

石橋 春香

平素より柑紀寮へのご理解・ご協力をいただいておりますこと、心より御礼申し上げます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。4月より新入生（男子108名、女子34名）を迎え、現在男子学生387名、女子学生113名が寮で生活しております。それでは4月以降に行われました主な行事について、報告させていただきます。

## 入寮式

4月7日(日)に令和6年度入寮式を実施しました。

入寮式では、本校に新たに入学してきた新入生に対して柑紀寮の運営に携わる教職員の紹介や規則について説明があり、指導寮生の案内で非常用持出袋の受け取りと避難経路の確認が行われました。

夕方には寮食堂で新入寮生にとって初めてとなる寮食として、歓迎食が振舞われ、指導寮生や寮に携わる教職員と食事を楽しみました。



## 地震と津波発生を想定した避難訓練

4月11日(木)に今年度1回目の避難訓練を実施しました。

今回の避難訓練は、午後4時20分に震度5強の地震が発生し、その後に津波警報が発令されたという想定で実施しました。寮内放送による避難命令後、全寮生は指導寮生・副指導寮生に誘

導されながら避難場所に指定された本校メディアセンター棟前(おがたまの丘)に非常用持出袋を持って避難しました。その後、指導寮生・副指導寮生による点呼が行われ、全寮生の安否が確認されました。

本避難訓練の最後に、三岩寮務主事より南海地震が起きても迅速に避難ができるように1年生は避難場所であるおがたまの丘までの経路を覚えておいて欲しいこと、また場合によっては避難場所よりさらに高い国道まで、自主的にでも避難できるように心掛けてくださいとの指導がありました。



## 前期指導寮生任命式

4月12日(金)に令和6年度前期指導寮生任命式を実施しました。

任命式では、井上示恩校長より、高学年寮生から選ばれた指導寮生・副指導寮生へ任命書が手渡され、「柑紀寮は他高専の寮よりも規模が大きいため、指導寮生の仕事は大変ですが、学生中心の自主的、自発的な運営をしてくれると確信しています」との激励をいただきました。その後、任命を受けた指導寮生委員長の環境都市工学科5年生の榎本直士君から、「寮生の寮生活が良いものになるように努力します」との挨拶がありました。

任命式の後に例年行われている研修会の代わりとして、三岩寮務主事から「各号館毎にそれぞれ特色があります。それぞれの号館毎に抱えている課題について特に気に掛けて指導してもらいたい」との講話がありました。

# お知らせ

## 令和6年度学科主任

学 科	学科主任
知能機械工学科	津 田 尚 明
電気情報工学科	山 吹 巧 一
生物応用化学科	綱 島 克 彦
環境都市工学科	林 和 幸
総合教育科	桑 原 伸 弘

## 令和6年度クラス担任

学年	学 科	担任教員
1 学年	知能機械工学科	青 山 歆 生
	電気情報工学科	青 井 顕 宏
	生物応用化学科	和 田 茂 俊
	環境都市工学科	西 嶋 政 樹
2 学年	知能機械工学科	芥 河 晋
	電気情報工学科	川 崎 有里紗
	生物応用化学科	津 野 祐 司
	環境都市工学科	椛 島 雅 弘
3 学年	知能機械工学科	大 村 高 弘
	電気情報工学科	岡 部 弘 佑
	生物応用化学科	西 本 真 琴
	環境都市工学科	横 田 恭 平
4 学年	知能機械工学科	村 山 暢
	電気情報工学科	中 嶋 崇 喜
	生物応用化学科	森 田 誠 一
	環境都市工学科	竹 村 泰 幸
5 学年	知能機械工学科	原 圭 介
	電気情報工学科	竹 下 慎 二
	生物応用化学科	舟 浴 佑 典
	環境都市工学科	山 田 宰

## 令和6年度 学生相談員（ハラスメント相談員）

心の中を見つめても、自分が見えてこなかったり、将来を見わたそうとしても、未来が見えなかったり…青春時代は、人生で最も純粋に人間や社会について悩む時代ですが、フーッと一息ついて、誰かに話してみることもあっていいんじゃないでしょうか。

なお、保護者の方々もご利用いただけます。

濱 田 俊 彦	総合教育科教員（室長）
原 めぐみ	総合教育科教員（副室長）
村 山 暢	知能機械工学科教員
森 徹	電気情報工学科教員
河 地 貴 利	生物応用化学科教員
櫻 井 祥 之	環境都市工学科教員
西 田 佳 代	学生課寮務係職員
小 川 敏 子	学生課学生係（看護師）
五 明 優 介	カウンセラー（臨床心理士）
赤 松 正 敏	カウンセラー（ソーシャルスキルトレーナー）
坂 本 優 美	カウンセラー（公認心理師）

☆予約・相談・連絡先

<https://www.wakayama-nct.ac.jp/campuslife/support/council/>



## 令和6年度行事計画 (9月から3月)

### 9月 SEPTEMBER

29(日) 開寮

### 10月 OCTOBER

12(土)～13(日) 学校説明会

19(土) ウェルカミングパーティー

26(土) 地域産業勉強会

27(日) 寮祭

### 11月 NOVEMBER

2(土) 寮祭

9(土)～10(日) 高専祭

22(金)～29(金) 後期中間試験

### 12月 DECEMBER

2(月)～4(水) CBT (Computer Based Testing)

25(水) 閉寮

### 1月 JANUARY

7(火) 学校長推薦入試 (登校禁止)

13(月) 開寮

18(土) 体験実習入試 (登校禁止)

25(土)～26(日) 英語プレコン全国大会 (予定)

28(火) 学生総会・寮生総会

### 2月 FEBRUARY

5(水)～13(木) 学年末試験

9(日) 学力検査入試  
帰国生徒特別選抜入試  
(登校禁止)

21(金) 終業式・閉寮  
学年末試験 追試・再試日

23(日) 学力検査入試 追試験  
(登校禁止)

25(火)～26(水) 学年末試験 追試・再試日

### 3月 MARCH

6(木) 成績・卒業判定会

15(土) 卒業式・修了式



編集：和歌山工業高等専門学校広報委員会

発行：和歌山工業高等専門学校

和歌山県御坊市名田町野島 77 番地

電話 0738-29-8244 (学生課学生係)

